

ひと街にと

No. 44

語り継ごう、明日へ。

歴史はいつも未来へのみちしるべです。世の中の進むスピードと自分の生きていくペースが、少し合わなくなってきたなと感じ始めたら、いつか来た道まで戻ってみましょう。



二〇二三年夏(年四回発行)

発行：(社)印刷紙工

札幌市中央区南十五条西十八丁目
TEL(011)561-1598

編集：ひと街にと刊行会

札幌市中央区北一条西十七丁目
北海道不動産会館四階

(株)編集工房海内
TEL(011)631-6651

高度成長へ
飛び跳ねる!?

この絵を見て何をしているところかお分かりの人は、だいたい50代以上でしょうか。「ホッピング」ですね。バネが付いていてバランスを取りながらただ飛び跳ねるだけ。いま思えば奇妙なものはやったものです。「フラフープ」なんていうのもありました。い

ずれも昭和33年ころ。まさに高度経済成長の入口、衣食住遊のすべての分野において新しいものが次から次と登場しました。しかしすたれるのも早く、胃下垂や腸ねん転になるとやらですぐ下火に。近年は装いを変えてダイエット商品として復活しているようですが。

地域の変遷と重なる、学校の統廃合の歴史。

あなたが通っていた母校はまだありますかーこう問われて「昔のままの場所に建っています」といえる人は何人くらいいるでしょうか。都心部の空洞化や地域の人口の減少で、小中高の統廃合はごく普通のこと。母校はすでに存在しないという人も多いはず。

多くの方の記憶にある札幌市中央区南3西7にあった創成小学校は、もともとこの地にあった西創成小と、市役所(中央区北1西2)のところにあった中央創成小が、昭和40年に統合してきたものです。大正末には両校で4000人以上

の生徒がいたといいますから、都心部の発展とその後のドーナツ化現象がうかがわれます。

昭和30年から40年にかけて、中央創成小一帯の変遷は目まぐるしく、西1丁目にあった豊平館が昭和33年に中島公園に移転。その跡地



中央区北1西2にあった旧中央創成小(昭和41年3月)



テレビ塔から見た同校(右下)。左は札幌郵便局(同35年)

まちのメモリー——創成小学校

に市民会館(現・市民ホールの前身)を建設。テレビ塔の出現は前年の同32年。市庁舎の着工が同41年で2年後に完成しています。

現在の資生館小学校は創成小、大通小、豊水小、曙小の4校が統合されたもの。校名は明治4年にできた札幌市内初の近代的な学校の名前にちなんでいます。



時の街角

北海道開拓の村から

●北海道開拓の村 所在地／札幌市厚別区厚別町小野幌五〇―一
電話〇二二八九八―六九九

地名はもちろん駅通という言葉も聞き慣れませんが、駅通とは昔の道の駅。といえどどこかの街道で旅人たちの助けになっていたたのでしよう。

開拓時代の道の駅 郵便業務や宿泊も。

旧ソーケシユオマベツ駅通所

函館―室蘭―札幌間に明治六年（二八七四）、日本で最初の本格的な西洋馬車道の開通に伴って設置された駅通所。その後、道内の交通の要所に広がり、大正五年には全道で二百三十か所ほどありました。駅通所は荷物の搬送や郵便、宿泊などの業務を行い、十数近くの馬や牧場も国

から支給されるなど、北海道の開拓に重要な役割を果たしました。

ソーケシユオマベツ駅通所の開設は明治四十二年（一九〇九）十二月、虻田郡喜茂別町双葉一四番地というかつての所在地を地図で探してみ

ると、尻別国道（国道二七六号）の大滝村（現伊達市）との境あたり。近くにソーケシユオマベツ川という川も流れている、ずいぶんと山深いところのようです。

開設当時は、駅舎は母屋のみで、浴室や便所などは別棟という粗末なものでしたが、その後、増築や内部



郵便や荷役などのほか旅人宿も兼ねていただけに帳場や客室はちゃんとした造り。街道の要所にあつて馬も大切な働き手だから、厩舎や牧場も国からの支給だった

改修が行われ、明治四十五年（一九一五）に建てられています。母屋の構造は木造平屋で表玄関、裏玄関、取扱い入室、使用入室、客室三部屋、台所・裏口、帳場・板の間、浴室・便所といった間取りになっており、宿も兼ねた造りであることがわかります。台所には炉を切つてあつて、旅人や宿の人が火に当たりながら談笑する光景が再現されていますが、雪に閉ざされる冬などは、一体どんな暮らしだったのか、馬そりがどれほど活躍したのかと、厳しい開拓時代の生活がしのべれます。機会があつたら、明治天皇が立ち寄つたこともあるという北広島市の国指定史跡、旧島松駅通所と見比べてみるのも面白いでしょう。



山奥の冬の暖房はいりくらしい。炉を囲んで旅人や近隣の人たちの話がさぞかしはずんだことだろう

人のいしぶみ

陸上競技では日本のお家芸といわれたマラソンも、今では世界レベルにかな

り水を空けられています。日本人選手の跳躍が世界の注目を集めていた時代がありました。昭和三年（一九二八）、アムステルダムオリンピックで四位入賞。続く昭和七年のロサンゼルスオリンピック同種目で一五呎七二を跳んで金メダルを獲得したのが札幌出身の南部忠平（一九〇四―一九九七）です。アムステルダムの三段跳優勝は織田幹雄、ロサンゼルの次のベルリンは田島直人優勝と日本人の三連覇でした。

五輪三段跳で金メダル。

技場で走幅跳七呎九八の世界記録を樹立しており、まさに世界の南部。岡山総合運動場のセンターポールの高さは金メダルを獲得した時の記録と同じで「南部ポール」と呼ばれています。毎年夏に開催される南部忠平記念陸上大会は日本グランプリシリーズの一つで、オリンピックや世界陸上選考会も兼ねています。

南部の四位は早大在学中。ロサンゼルスでは走幅跳でも銅メダルを獲得しています。昭和六年には神宮競

北陸道の陸上競技のメッカ、岡山総合運動場。南部ポールは第四コーナー付近にある。右下は今年の第七十回南部忠平記念陸上競技大会七月七日のパネルアート。



南部忠平顕彰碑

（札幌市中央区 岡山総合運動場）

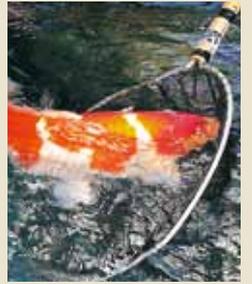


まちの仕事

札幌錦翠

高橋 宏昭さん

札幌市白石区平和通三丁目
南二一九
電話〇二二八六三二五九六一



賞時には九〇センチにも成長していました。

平成二十一年(二〇〇九)二月一日、北海道に札幌錦翠あり」と全国にその名をとどろかせた出来事がありました。第四十四回全日本総合錦鯉品評会で大会総合優勝の栄誉に輝いたのが、札幌錦翠のオーナー、高橋宏昭さん(六六)が世に送り出した鯉だったからです。

一家で育てる錦鯉、裏方に徹して全日本総合優勝も。

出品したのは埼玉県の愛好家ですが、そもそも高橋さんがいずれ素晴らしい鯉になると見込んで、島根県の養鯉業者から求めたもの。体長四〇センチほどだったのを、こちらでさらに大きく美しく育ててその愛好家の手に。受



に徹してお客さんに喜んでもらうのが生きがい」という高橋さんの、仕事に対する姿勢が最高のかたちで報われました。部門別優勝ならこれまで三千匹を下らないという高橋さん。奥さんの早苗さん、長男の和宏さん(四〇)の一家三人で錦鯉の生産と販売を三十年以上続けています。

どんな仕事なのか、大まかな流れを聞くと、当別町の専用池で毎年六月ごろにふ化する二十万匹の稚魚の中から、将来性のあるものを順次選別していくこと。「自然の池に入れてやることで大きくなる」(和宏さん)という七面の池と、こちらの店舗内の五つの水槽とを、夏冬交互に移し換えながら育てます。その間、鯉の販売を主に、様々な相談を受けたら、全国の養鯉業者を訪ね歩いたりも。和宏さんが選別の作業に加わる



上/左から高橋宏昭さん、早苗さん、和宏さんのご一家生き物を扱っているだけに休日なし。当別の池との往復が大変。右/これまでに品評会で部門別優勝した鯉の数々。左/つい最近取り付けた大きな錦鯉の看板



ようになつて六年。今では「毎年大きくなつていくのを見るのが楽しい」と父親の心強いパートナーに。高橋さんも「後継者がいるから頑張れる」と年を取る暇がありません。こうして話を聞いていると高価な鯉ばかりのようですが、「人それぞれの楽しみ方があります」と高橋さん。若い人にも気軽に飼ってみたいことを勧めています。



道具で道草30年

坂一敬

レトロスペース坂会館館長
坂栄養食品開発部長

レトロスペースを開いて間もななくの頃、一人のおじいさんが私を訪ねてきた。

長い時間、私を待っていたのだけれど、戻ってこないの、今しがた帰っていったとか。それを聞いて私は通りに出た。かなり先を少し肩を落とし気味に琴似の方に歩いていく後姿が目に入った。一瞬迷ったけれど、思い切って声を

老画家と赤い瑪瑙。

戸田画伯近影(今年月)



珍しい赤いメノウ
切断面は滑らか

かけた。再度レトロに戻つてもらい、話をした。千葉県から足を運んでくれた画家の戸田吉三郎さんと会ったのはこの一度きり。戸田さんは石にとても興味があるということだった。

道南の八雲から熊石に抜ける途中に今金というところがある。この花石地区は、とてもきれいな石——瑪瑙の取れるところ。私が最初に行った時、ここでは村おこしの一環として、この石を機械で切断して寶石にし、村の名産品にしようとして張り切っていた。

次に行った時、大型の機械は赤く錆びて、入り口に飾り物となつて置かれていた。以前に私にいろいろ説明して将来の夢を語ってくれた人によると、機械は入れたものの、スパツと滑らかに切れなかった。一年かけてあれこれやってみても、ついにダメだったという。

そこに中年の親父さんがいて「おい、これは珍しいなあと」言つてすぐ輪切りにしてくれた。色は思ったとおり、あずき色に近い赤。そしてその切断面の鮮やかなこと。後で知ったが、この人が切断一筋四十年の桑島さんだった。桑島さんは一年や二年で切れたら苦労しないと笑った。

私はこの時の一枚を戸田さんに送ったものだ。もう二十年近く前の話だ。(以下次号、画家との再会)



店舗内には水槽が3つ。5トンもの水をたたえている写真上の8歳の鯉はここでの最大級90cm、10kg。ページ右も同

印刷の話③『水と空気以外は何でも』 原理は謄写版にあった——。



インクにおいも独特
昔懐かしいガリ版
(協力/レトロスペース)

この何にでも印刷できる方法はスクリーン印刷というもの。かつてシルクスクリーン印刷と呼ばれていたのは絹のスクリーンを利用していたからです。その原理を説明するのに、少し年配の人たちに思い出してもらいたいのが謄写版印刷(ガリ版印刷)です。

謄写版印刷とは、鉄のヤスリ版の上にロウや油を塗った原紙を乗せ、鉄筆で文字や絵を描いていくとその部分だけ原紙に穴が空きます。それを謄写版にセットしてインクを塗ったローラーを回転させると紙に文字が転写されるというもの。学校で試験問題やお知らせ類がたくさん作られた時代がありました。

その原紙が絹に変わり、さらにテトロ

ンやナイロンなどの化学繊維、ステンレススチールなどの針金で織ったものに発展し、いまでは単にスクリーン印刷と呼ばれているのです。印刷の工程はほぼ謄写版と同じで、スクリーンの四隅を引っ張ってヘラ(スキージという)でインクを加圧移動させれば、インクが空いた穴から印刷面に押し出される仕組み。

スクリーンへの製版技術が高度になり、またメッシュの数を変えたりすることで、より精密なデザインが可能になります。さらにもう一つ大きな特徴は、印

刷の版面が軟らかいため、平面だけでなく曲面の印刷もできるということです。野球やゴルフのボール、グラス、ピンなどを思い浮かべてください。そのほかプラスチック、金属、布。布といえばTシャツ。好みのデザインを印刷してくれる街中のショップも見かけます。

文字どおり「水と空気以外は何でも」という印刷の進化がわかります。ところで円筒形のグラスやピンにはどうやって転写するのかお分かりですか。答えは印刷されるものが回転する——です。



〈スクリーン印刷物の一例〉

●**出前でアドバイスを**
自分史など本をつくりたいと考えている人のために、印刷担当者と編集者がお伺いしてアドバイスをいたします。グループでもどうぞお気軽にお申し込みください。

●**記念誌で歴史を残す**
企業や団体が二千年、三十年と歴史を重ねていくうちに、人が変

わったり資料が散逸したりします。節目の年に記念誌の制作はいかがですか。企画、編集、印刷、どの段階からでもご用命を承ります。

●**小紙をお送りします**
忙しい毎日、ほっと一息つける話題を提供していきたいと願っている小紙です。ご希望の方に無料でお送りいたします。印刷紙工までお申し込みください。



本づくり質問箱

本づくりの「？」にお答えします。
お気軽に質問をお寄せください。



Q お盆休めで5日間ほど帰省してきます。いずれ自分史を書くかと思っていますので、この機会に何か関連資料でも集められればと思っています。どんなことでそしょうでしょうか。親戚もたくさん集まるようですが。

帰省を機会に資料集めや取材を

A 夏休みといえば小さいころの思い出がいちばん詰まっている時季です。様々な生活のシーンの確認も含めてやっておきたいことはたくさんあります。

まず親戚や友人たちが集まった時のために質問を用意しておいて、聞いたことをしっかりメモしておくこと。自分史をまとめるためと断って、レコーダーを使うのも手です。

家族の歴史を自分史でどこまでさかのぼるかは人それぞれですが、家系にまで踏み込むとすれば菩提寺を訪ねてみるのもよいでしょう。過去帳を見せてもらえれば一族の消長が確認できるかもしれません。役場では除籍簿なども閲覧できますから参考になるでしょう。



あらかじめこれを調べたいということがあれば図書館へ。大きな図書館ですと地域の新聞(もしくは地域版)のマイクロフィルムがあるかもしれません。コピーも取れるはずです。

郷土誌のコーナーでもあれば、参考になる出版物がたくさんあることでしょう。またこの機会にふるさとの景色、街並み、人々の顔などを手当たり次第デジカメに取っておくと後で役に立ちます。